

ひきこもりの若者 と居場所

NPO法人 リロードの活動を通して

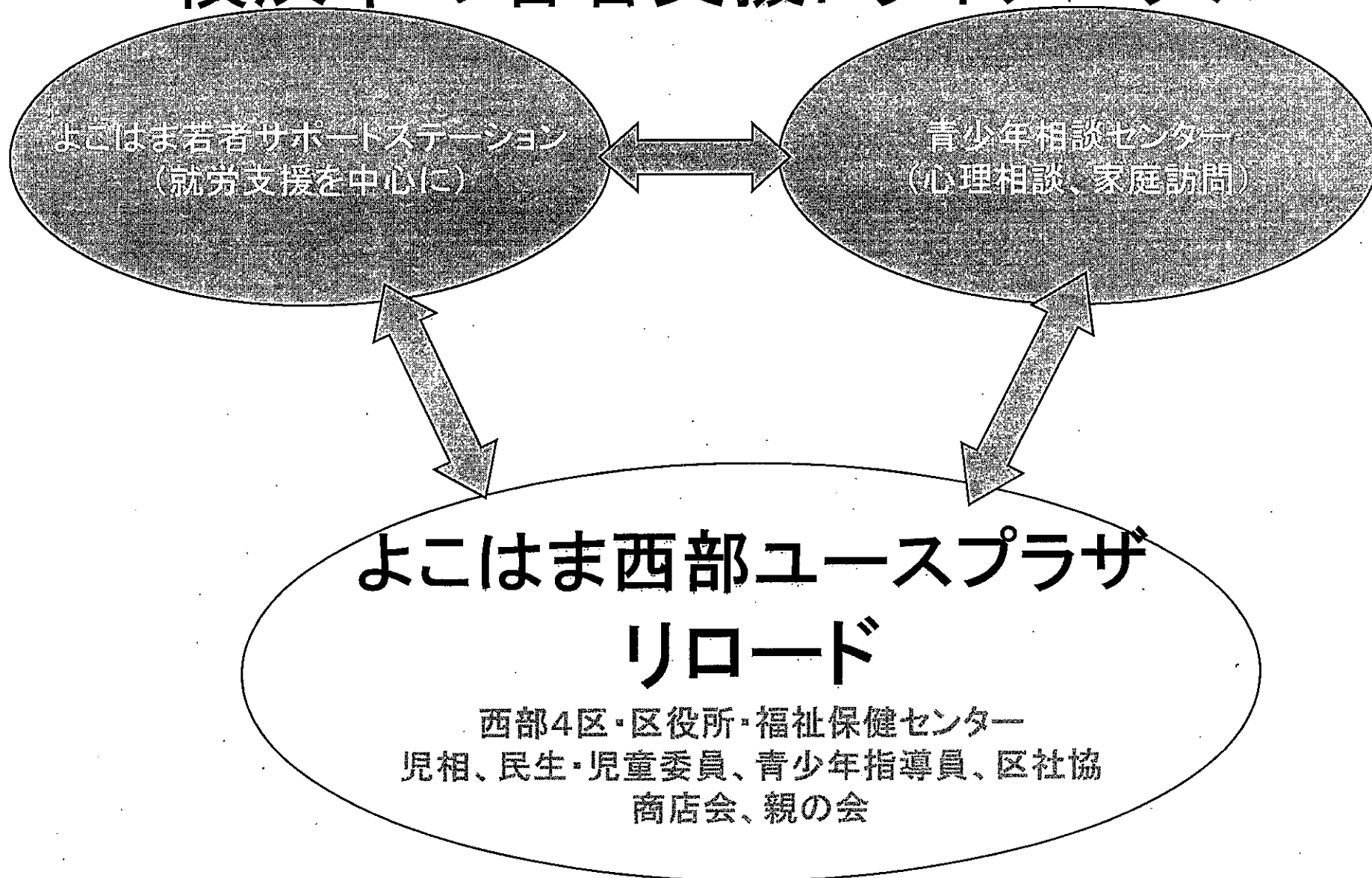
2002(平成14)年 「神奈川ボランティア基金21」を 受託して 神奈川県青少年課との 協働事業

- ひきこもった若者は、行政の守備範囲から埒外の存在
- 「ひきこもりとその家族支援」事業
- 全県的な活動範囲
- ボランティア基金は5年間→「その後は自立運営へ」

2007(H. 19)年 横浜市西部地域ユース・プラザとして 地域に根ざした活動の開始

- 2007年10月より、横浜市子ども青少年局のひきこもり・無業の若者支援事業を受託
- 横浜市内西部4区のひきこもりの若者とその家族支援(市内最初の取り組み)
- 場所: 保土ヶ谷区天王町、商店街の一角

横浜市の若者支援トライアングル



居場所でのプログラム

■ さまざまなメニュー 1

・お茶会



パソコン、



環境ボランティア活動



地もの野菜市



さまざまなメニュー 2

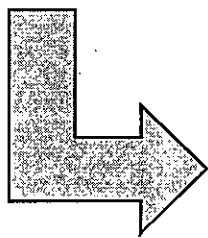
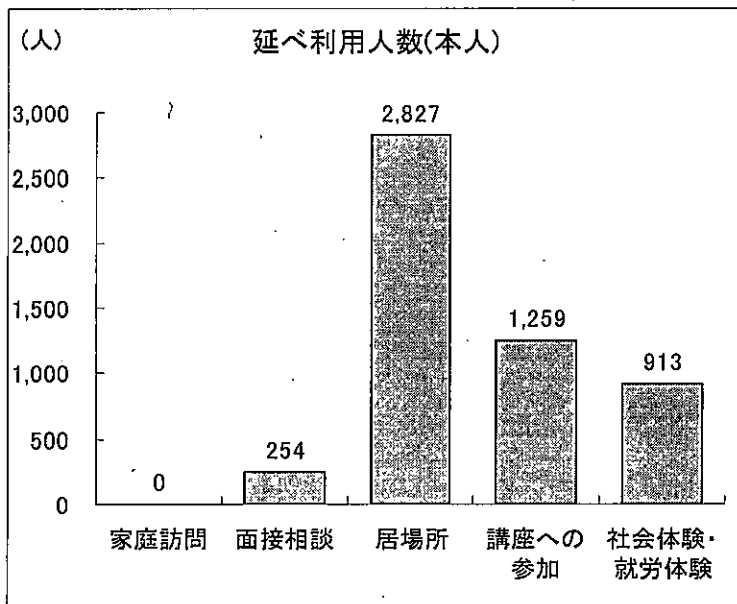
■ その他

- 1 スポーツ教室、サッカー、プロ野球観戦
- 2 ギター教室
- 3 手芸教室
- 4 話合いの会
- 5 よろずや・体験塾(就労支援)

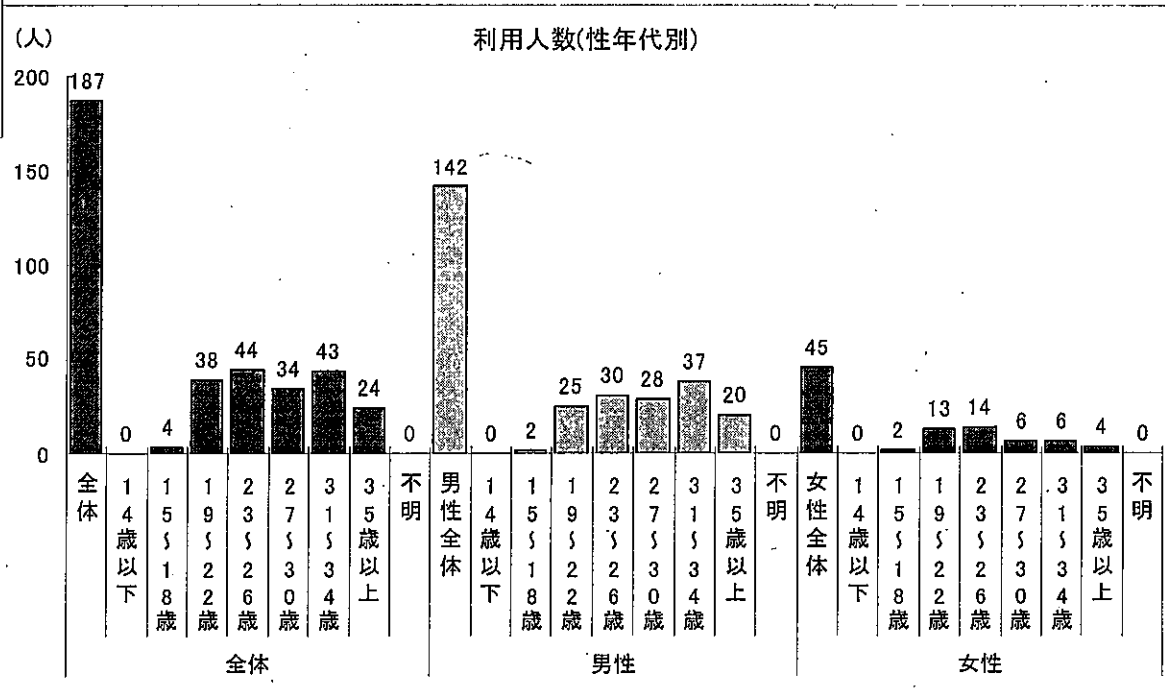
(区内農家、商店街、作業所、福祉作業所、青少年センター食堂、夏祭りetc.)

西部ユースプラザ 利用者数(2009年度)

-7-



利用者の内訳



ひきこもり支援を通して 見えてきたもの

- ひきこもっていても、家にも居場所はない
- 何とかしたい、このままではいけないと思っ
ている
- 自分への否定的な評価、自信を失って、絶望感の
中に
- 自責と他罰感の葛藤
- 受け入れてもらえる他者、仲間の希求

若者が自立していく過程 1

- 1 どこにも居場所のない若者たち(仲間を求めている)
↓
- 2 責められることも詮索も受けない、安心していただける場所
↓
- 3 何か集まるきっかけが必要
最初はただ食べるだけの集まり
(参加することに全エネルギーを費やす)